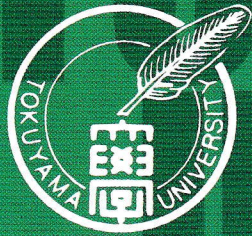


# とくだい

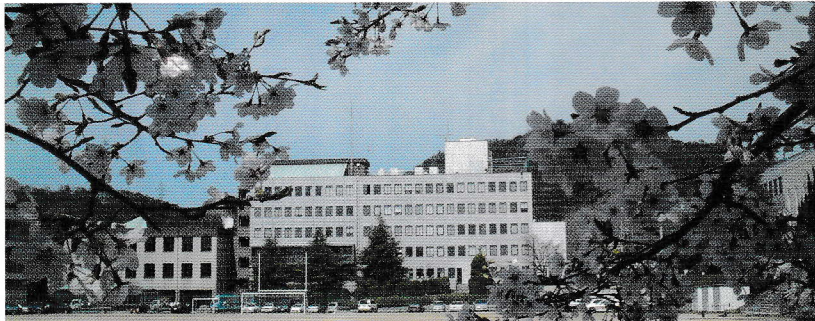


発行所  
徳山大学校友会

〒745-8566  
山口県周南市久米 徳山大学内  
TEL&FAX 0834 (28) 7454

発行日  
平成15年12月25日

発行責任者 國廣 憲  
編集責任者 今元 英之



①グランド側より本館全景



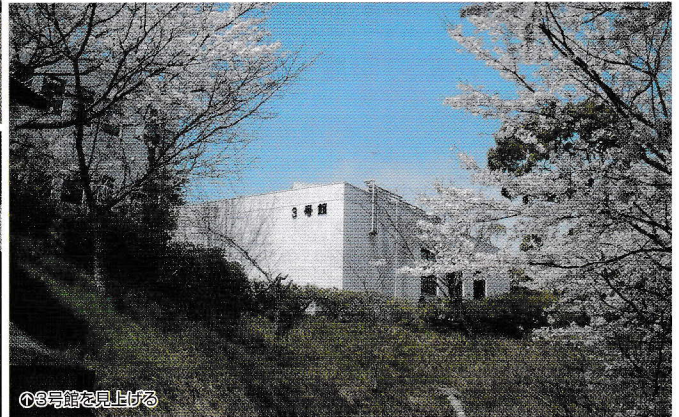
今春の4月の様子  
です。学食の窓から  
もパノラマの桜風  
景がひろがりました。



①10号館下より



①学食内にて



①3号館を見上げる



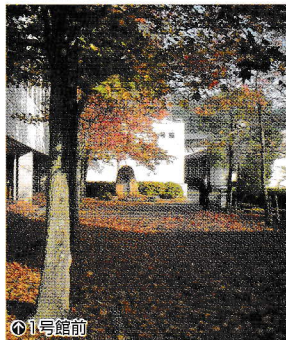
①1号館教室より



①学食下「雨どいの小径」沿い



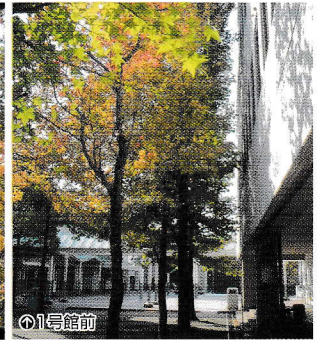
①学生駐車場より



①1号館前



①1号館窓から



①1号館前

今年11月の紅葉の様子です。1号館前  
から3号館へ向かうかえで並木の紅葉  
は季節の憩いを与えてくれます。教室  
の窓からはいろづいた紅葉が行き交う  
人の心をなごませてくれます。

撮影/中村 道陽



①2003.10月中旬



①2003.11月上旬



## 平成15年度校友会評議員会開催

平成15年6月28日平成15年度の校友会評議員会がホテルサンルート徳山にて開催されました。前年度決算・今年度予算、各部活動状況ならびに予定などについて、審議報告が行われました。今年度評議員会では、出席者数が例年より少なく開催にあたり本部・事務局側の出席を促す努力を求めました。

平成16年度評議員会は平成16年6月26日(土)周南市内にて開催予定

見がされました。校友会本部としてもこのことを前向きな意見として捉え、来年度に生かしていきたいと答弁がありました。この会の終わりにには大学側から、岡野経済学部長、青木福祉情報学部長にお越しいただき、近況についてご説明いただきました。

## 平成14年度一般会計決算

### 収入の部

科目	項目	予算額	決算額	差異	備考
前年度繰越金	前年度繰越金	516,778	516,778	0	
会費	会費	7,450,000	7,660,000	210,000	
	26期生入会金	1,855,000	1,915,000	60,000	5,000円×383名
	26期生会費	5,565,000	5,745,000	180,000	15,000円×383名
	追徴会費	15,000	0	△15,000	
	推薦会費	15,000	0	△15,000	
事業積立取崩金	事業積立取崩金	0	0	0	
雑収入	雑収入	40,474	56,077	15,603	
	雑収入	40,000	56,018	16,018	
	受取利息	474	59	△415	
貸付金		157,500	157,500	0	前年度貸付金
計		8,164,752	8,390,355	225,603	

## 平成15年度一般会計予算

### 収入の部

科目	項目	前年度予算額	予算額	差異	備考
前年度繰越金	前年度繰越金	516,778	1,782,691	1,265,913	
会費	会費	7,450,000	5,930,000	△1,520,000	
	27期生入会金	1,855,000	1,475,000	△380,000	
	27期生会費	5,565,000	4,425,000	△1,140,000	
	追徴会費	15,000	15,000	0	
	推薦会費	15,000	15,000	0	
事業積立取崩金	事業積立取崩金	0	0	0	
雑収入	雑収入	40,474	43,309	2,835	
	雑収入	40,000	40,000	0	
	受取利息	474	3,309	2,835	
貸付金	貸付金	157,500	1,000,000	842,500	
計		8,164,752	8,756,000	591,248	

### 支出の部

科目	項目	予算額	決算額	差異	備考
会務運営費	会務運営費	4,436,000	3,589,846	△846,154	
	人件費	2,000,000	1,763,267	△236,733	人件費
	消耗品費	180,000	111,680	△68,320	一般事務用品
	旅費交通費	850,000	555,827	△294,173	評議員・役員出張費
	通信費	200,000	181,667	△18,333	
	諸会費	30,000	0	△30,000	後援会・徳山文化振興財団
	会議費	900,000	726,183	△173,817	評議員会・三役会他
	貸借料	0	0	0	
	慶弔費	30,000	68,577	38,577	会員慶弔費
	福利厚生費	0	0	0	
	渉外費	100,000	79,025	△20,975	
	修繕費	0	0	0	
	部費	企画部費	1,010,000	889,382	△120,618
広報部費		1,470,000	1,270,954	△199,046	
組織強化部費		1,000,000	628,990	△371,010	
事業部費		100,000	97,128	△2,872	
貸付金支出		0	0	0	
前期未払金支出		131,364	131,364	0	未払金(卒業生名簿・文庫図書)
予備費		0	0	0	
次年度繰越金	17,388	1,782,691	1,765,303		
計		8,164,752	8,390,355	225,603	

### 支出の部

科目	項目	前年度予算額	予算額	差異	備考
会務運営費	会務運営費	4,436,000	5,340,000	904,000	
	人件費	2,000,000	3,000,000	1,000,000	人件費
	消耗品費	180,000	150,000	△30,000	一般事務用品
	旅費交通費	850,000	800,000	△50,000	評議員・役員出張費
	通信費	200,000	200,000	0	
	諸会費	30,000	20,000	△10,000	後援会・徳山市文化振興財団
	会議費	900,000	900,000	0	評議員会・三役会他
	貸借料	0	0	0	
	慶弔費	30,000	30,000	0	会員慶弔費
	福利厚生費	0	0	0	退職金掛金
	渉外費	100,000	100,000	0	
	交際費	100,000	100,000	0	
	委託手数料	16,000	10,000	△6,000	貸し金庫使用料・振込手数料
部費	部費	3,580,000	3,240,000	△340,000	
	企画部費	1,010,000	910,000	△100,000	
	広報部費	1,470,000	1,330,000	△140,000	
	組織強化部費	1,000,000	900,000	△100,000	
	事業部費	100,000	100,000	0	
事業積立基金		0	0	0	
前期未払金支出	131,364	0	△131,364		
予備費	0	150,000	150,000		
次年度繰越金	17,388	26,000	8,612		
計		8,164,752	8,756,000	591,248	

# 第17回 徳山大学校友会 関東支部同窓会開かれる



◎関東支部役員紹介

平成15年11月15日(土)、東京都千代田区千代田の「C・AMBER」(シーアンバー)において、第17回関東支部同窓会が開催されました。大学からは吉岡隆理理事長にご多用の中、ご出席いただきました。校友会本部からは國廣会長、三嶋事務局長、また、ゲストとして浅野一郎前学長にご出席いただきました。

会は終始和やかに進行し、和気あいあいとしたノスタルジックな空気が流れていました。今回は特別ゲストとして、学生時代にデビューし、CDをリリースしたミュージシャンの永谷青空さん(27期卒・山口在住)と、ミネソタ・ツインズ所属の飯田宏行投手(29期卒・アメリカ在住)を招待して、お2人の近況を伺いながらトーク&ライブが行われました。また「企業プレゼンテーション」の時間を設け、総合警備保障株式会社、翼株式会社等の2企業のOBが会社・取扱商品等の説明を行うなど、今までにない趣向を凝らした企画が目を見張りました。このようなビジネスの出会いがうまく融合し、新しいスタイルの同窓会の形が出来上がっていくことを、今後期待したいと思います。



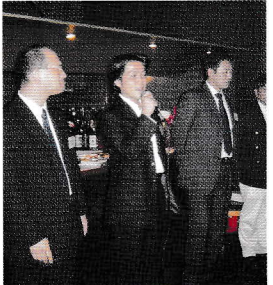
◎國廣会長



◎永谷さん



◎左手前は前支部長 飛田さん(仙台市在住)



◎初参加の方々の自己紹介



◎関東支部の情報は、校友会ホームページからリンクして見ることができます。

ず東北地方から駆けつけた方もあり、遠く離れば離れるほどに、懐旧の思いが強くなるのかもしれませんが。関東支部では定期的に同窓会が開催されていますので、この記事を読まれた関東近郊の方、来年は是非ご参加ください。

## 山口県東部支部同窓会賑やかに開催

平成15年9月6日(土)、山口県東部支部同窓会が周南市の敦煌徳山新館にて行われました。当日は9月に入ったとはいえ大変暑い日でした。東部支部会長の古谷幸男さん(7期卒)は「今年は徳山大学に2つめの学部福祉情報学部が誕生して卒業生としても嬉しい限りです」と挨拶されました。来賓として杉光学長をお迎えし60名の参加者で賑わいました。途中、



◎支部長 古谷さん



◎楽しいビンゴ大会



◎山崎さん

デジタルカメラなどの豪華景品に歓声が上がります。楽しいひとときが送られました。

## 米大リーグ、ツインズマイナー契約の飯田宏行さん(29期卒)凱旋報告

今春卒業して米大リーグのミネソタ・ツインズとマイナー契約した飯田宏行投手(23)が10月16日、徳山大学を訪れ、杉光学長に帰国報告されました。



飯田投手は今季、ツインズ傘下のエリザベスタウン・ツインズ(ルキーリーグ)に所属。18試合に登板、中継ぎ投手として30イニングを投げ、1勝0敗、防御率は4.8でした。基礎体力づくりとひじへの負担軽減という球団方針に従い、得意のフォークボールを封印して挑んだ1年でした。約2カ月間で66試合というハードスケジュールの中、飯田投手は中継ぎとして3日に一度は登板。時には連投もこなしながらも一年間を大きな故障もなく乗り切ったことで、当初の目標だった「3年目のメジャー昇格」に向けて夢が膨らんでいるところです。



◎杉光学長と歓談

ウェイトトレーニングを中心に調整を続け、さらなる球速アップに取り組みます。「楽しい1年間で慣れたので、来季は1Aでスタートし、できればシーズン後半には2Aに昇格したいと思います」と来季の飛躍に向けて力強く話してくれました。



これは今から16年前の1987年の学食前と現在の様子です。ポプラの木は台風で倒木し残念ながら現在はありませんが、かえりが大きく育ちキャンパスらしさを引き立てています。



◎2003年(現在)の学食前



◎1987年(16年前)の学食前

ちよつと昔の  
**徳山大学**

# 福祉情報学部開設記念講演会開催

## ―県内医療・福祉関係者多数聴講される―

10月17日(金) ホテルサンルー

ト徳山にて福祉情報学部開設記念の講演会が開催されました。病院・福祉施設・社会福祉協議会・高校の先生など県下の広い地域から、115名の方の参加があり、会場は満席となりました。最初に国立保健医療科学院経営科学部長の小山秀夫先生より、「医療と福祉のト



進行される岩本先生



高井先生



小山先生



交流会にて講師を囲み記念撮影

レンドゥーこれからのサービスについて」という演題で、これからの福祉と経営の関わりについて最新のデータを基に講演されました。続いて、国立保健医療科学院福祉サービス部福祉サービスマネージ



メント室長の筒井孝子先生より、介護保険制度というこれまで基準のなかった福祉サービスを立ち上げてこられたことを通して、福祉をデータ化(情報化)し、比較検討していくことの重要性について講演され、本学福祉情報学部のこれからの研究への熱いエールを送られました。この後、講師の先生を囲み交流会が開催され、理事長より「これからの本学の福祉情報学部の指針を示していただいた講演会でした」と挨拶があり、なかなか中にも意義深い懇談のひとときがおくられました。

# 福祉情報学部開設にあたり

福祉情報学部長 青木 邁



日本で初めての学部、福祉情報学部は今年4月に開設されました。21世紀を迎えて、わが国の福祉は限られた者を対象とする救済的な措置制度から、ひとりひとりが必要とするサービスを自ら選ぶ選択的な利用制度へと転換が図られています。「福祉」をとりまく社会環境の変化への対応が求められています。また、福祉を含む社会のあらゆる分野で情報技術(I・T)の革新は著しく、「情報」をとりまく社会環境の変化に対応できる人材も求められています。これら「福祉」と「情報」をとりまく時

代のニーズの交点に位置するものが福祉情報分野です。私たちの福祉情報学部はこの複合領域において、福祉の質を高めていくために、I・Tを重要な要素と位置づけ、これと協同してより豊かな福祉社会の実現に資する人材の育成を目指してスタートした先駆的な学部です。「社会福祉コース」と「福祉情報コース」の2つのコースを設けています。どちらも実践的な資格取得の支援に力を注ぎますが、来年度からはさらに高校教諭免許状「福祉」と「情報」の取得が可能となります。

## 福祉情報学部 専任教員組織(前職)

青木 邁	(徳山女子短期大学 教授)
家常 恵	(大阪府中央子ども家庭センター(中央児童相談所) 所長)
岩本 晋	(山口県立大学 教授)
日比 正史	(久留米大学 講師)
細川 順正	(大分大学 教授)
三井 速雄	(厚生省・財団法人年金融資福祉サービス協会 専務理事)
河野 紘一	(徳山女子短期大学 教授)
中光 義亮	(徳山女子短期大学 教授)
安斎 芳高	(川崎医療福祉大学 講師)
寺田 雅英	(常盤大学 非常勤講師)
福永 義秀	(福岡女学院大学 助教授)
清水 眞	(徳山女子短期大学 助教授)
田中 数恵	(徳山女子短期大学 助教授)
松尾 静香	(徳山女子短期大学 助教授)
室屋 心	(徳山女子短期大学 助教授)
渡辺 靖志	(岩国YMCA国際医療福祉専門学校 介護・社会福祉学科長)
今浦 文志	(山口県健康福祉センター福祉部長(中部社会福祉事務所長))

平成15年度入学者内訳(平成15年5月1日現在)

山口	広島	愛媛	福岡	岡山	和歌山
77	7	4	4	3	3
長崎	沖縄	静岡	熊本	大阪	鹿児島
3	3	2	2	1	1

新しい学部にあたり、先生方は文部科学省の審査を経て各方面からお集まりいただきました。この機会にご紹介いたします。この



助教授 安斎 芳高  
●社会福祉援助技術現場実習指導  
●社会福祉援助技術演習  
●社会福祉経営論

## 平成15年度着任 教員紹介

ほかに医師、建築家、マスコミの世界等で活躍される多彩な講師陣に協力をいただいています。また学生の皆さんも短い広報期間であつたにもかかわらず全国から入学してくれました。動き始めたばかりの福祉情報学部です。より充実した学部となるよう努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉は生きた学問といえます。そこには必ず人々の生活が存在するからです。社会福祉の主人公は地域で暮らす人々であり、そのウェルビーイング(自己実現)がその制度の目指すところです。当然、人々の暮らしや価値観の変化に応じて福祉制度も変えなければなりません。したがって、それに携わる者は常に社会の動きに関心を持ち、福祉サービスを必要としている人々のために何をなすべきかを考え、実践していく必要が



教授 家常 恵  
●児童家庭福祉論  
●社会福祉援助技術論

あります。実践の科学といわれるのもこのためです。福祉の現場で働く者は、他者からの信頼と任務に対する強い責任感がなければなりません。さらに様々な状況に対応できる柔軟な能力を持った人が期待されています。授業では長い福祉現場の経験を生かした具体的かつ実践的なものを目指したいと思えます。特に実習に関しては、実践社会に巣立つための人づくりを心掛けたと思います。

教授 岩本 晋  
 (専門) ●医療管理  
 ●疫学 ●公衆衛生



私は30年もの長い間にわたり医学生や保健婦、看護師に教えてきたものですから、学生は育てるのではなく、学生自らが興味を持って努力して育っていくものと考えています。

これまでの経験では、ほとんどの学生は私の記憶にも残らず、何の反応もなく、ただ授業を聞いていただけですが、それでもその人たちが今では立派な専門家として世の中で活躍しています。

一部の学生は、私の記憶にとどまり、質問してきた内容のフレッシユさや発想の豊かさに驚いたりしたことを思い出しますが、やはり期待通りの活躍と社会での重責を担っている人が多いようです。

結局、学生が育つのは先生の善し悪しや、刺激の与え方ではなく、学生が教授の持っている特長や、刺激の材料をいかに利用したかでしょう。そのことは、学生自らの努力が全てで、成果を生み出す基は自己だと考えざるを得ません。

教育において先生が影響を与えるのは、自己が確立されていない幼児から小学、中学、高校生くらいで、大人としての大学生は、それまでの人生そのものがすべてだと思っています。私は、求めることにどんな学生に出来るだけのエネルギーはもってやるつもりです。学生からのチャレンジを待つところからです。

助教授 寺田雅英  
 (専門) ●心理学  
 ●発達心理学 ●発達障害学



世の中のために役立つ学問という意味で、実学という言葉があります。私は、心理学を学んできた過程で、基礎的な領域から応用的な領域へ移り、今はもっぱら発達障害の子どもたちに基礎的な領域で身に付けた知識と応用的な領域で身に付けた技術を如何に役立てるか苦戦しています。そんな経験の中で、知識と技術をうまく調和させることがとても大切だと感じています。療育の場で、子どもに何が欠けていて、何が必要か、養護者に理解してもらい、信頼してもらうためには深い知識が必要で

す。他方、実践の場では一人として同じ子どもはいません。子どもたちの個性を理解し、子どもたちをうまく援助するために、確かな技術力が必要です。知識は教室で学べますが、技術には経験が大切です。私は、知識におほれることなく、また、技術を過信することなく、知識と技術が調和した実学を学生に身に付けて欲しいと思っています。

赴任して少子化の中で小さな大学へ赴任することに不安がありました。しかし、半年間働いてその不安は消えました。多くの教職員が、学生や地域社会のために貢献できることを真剣に考え、危機意識を持って自立していることに驚きました。これが徳山大学の良さの一つだろうと感じています。

私の専門は情報システム論という事になっていますが、私たちが年代では大学で情報システム論を専攻した人間はいません。なぜなら、その時代はそういう学問はまだ無かったからです。コンピュータとの出会いは、当時居た大学でアメリカ製のコンピュータを導入することになり、ハードウェアの組み立てから、ソフトウェアのインストールまで全部自分たちでやったことから始まりました。そこから学んだことは、自分でやってみると全体像がよく理解できるということでした。その後、自分の研究に使うプログラムも何処にも売っているはずもなく、自分で作りました。

教授 日比正史  
 (専門) ●情報システム論



現在は、ハードウェアもソフトウェアも殆どのものはお金を出せば買える時代です。データを入力してしまえば、あとはコンピュータが答を出してくれる時代です。でも、ちょっと待ってください。コンピュータは人間が指示したことしかやってくれません。コンピュータを使うのは人間です。その人間が全体像を把握してなければ、コンピュータは正しい答を返してくれません。全体像を把握するのが情報システム論なのです。物事の道理を把握するために「自分で考える」、そういう授業をして行きます。

私の夢は、徳山大学を学生ポラントニアが盛んで、障害者スポーツをリードする大学にし、さらに福祉のサービスの開発と人材を育てる大学にすることです。また、周南市がこのような教育を育てる福祉の街にすることです。

もう一つの夢は新しい大学教育の創造です。今日、情報社会は社会を大きく変え、大学のあり方も変えようとしています。

私の夢は「理論と実践」を繋ぐ大学教育の実現です。それは、学生が周南市のさまざまな活動に参加し、その活動から学び、これを大学で再考し、さらに実践する教育です。これらの夢は、福岡を生活の拠点と決めていた私の心を翻意させるほど魅力あるものです。

助教授 福永善秀  
 (専門) ●障害者福祉論



私は、21世紀は「障害者の世紀」であり、障害者福祉は21世紀を切り開く学問だと考えています。私は、つぎのような夢をもって徳山大学に着任しました。

徳山大学を日本のパークレー校にすることです。アメリカの南カリフォルニア大学のパークレー校は、重度障害者がアパートで生活しながら大学で学ぶことを実現しました。

私の夢は、徳山大学を学生ポラントニアが盛んで、障害者スポーツをリードする大学にし、さらに福祉のサービスの開発と人材を育てる大学にすることです。また、周南市がこのような教育を育てる福祉の街にすることです。

成績では可が10あっても優が10以上あるような、つまり自分のウリはこれだ!!と言える学生が好きです。大学生活の面白さはゼミナールにあります。講義ではどうしても一方的になります。それに対してゼミナールでは、ひとつのテーマについて皆で自由に議論をします。そして、見学や調査にも出かけ、それを皆で討議してまとめを作る、そんなことのできるゼミにしたいのです。ゼミの中で間違っただことを発言しても、何も失うものはありません。自分の意見が他の仲間の考えと違うことに気づいたり、時には自分の意見によって他人が傷つくということさえ、それに気づくことで人生の糧となるわけです。それによって成績が悪くなるはずはないし、給料が下がったり、人事で左遷されるわけでもないのだから何の損も発生しません。皆で恥をかきあって、皆に得しか残らないのです。それが大学のゼミです。

教授 細川順正  
 (専門) ●地域福祉論 ●高齢者福祉論



私は厚生省の出身ですが、その後健康保険組合連合会に勤務して、医療保険の行政や運営に長く携わってきました。それ以来わが国の医療保険のあり方を中心に、社会保障財政の問題に取り組んでいます。

本学を卒業して社会へ出て行きますと、自ら進んで克服しなければならぬ事態に絶えず出会っていくこととなります。そのとき適切な対応処理ができるよう確かな判断力を養ってもらいたいと思っています。

そのためには、自分が学んでいるテーマについて、教わったことを覚えるだけでなく、自分自身が納得する迄よく考え、よく調べ、自分の意思を持つ習慣を持つて欲しいのです。

私の授業では、既に起こっている社会の問題をとり上げて、それについての自分の意見を創る訓練が出来るようにしたいと考えています。

教授 三井速雄  
 (専門) ●社会保障論



私は厚生省の出身ですが、その後健康保険組合連合会に勤務して、医療保険の行政や運営に長く携わってきました。それ以来わが国の医療保険のあり方を中心に、社会保障財政の問題に取り組んでいます。

本学を卒業して社会へ出て行きますと、自ら進んで克服しなければならぬ事態に絶えず出会っていくこととなります。そのとき適切な対応処理ができるよう確かな判断力を養ってもらいたいと思っています。

そのためには、自分が学んでいるテーマについて、教わったことを覚えるだけでなく、自分自身が納得する迄よく考え、よく調べ、自分の意思を持つ習慣を持つて欲しいのです。

私の授業では、既に起こっている社会の問題をとり上げて、それについての自分の意見を創る訓練が出来るようにしたいと考えています。

※掲載の順は、50音順となります。又、敬称は略させていただきます。

高濃度オゾン利用専門委員会開かれる

現在、高濃度オゾン水を水の処理浄化に役立てるといふ、世界でも先導的な研究が経済産業省とNEDOを中心に進められています。これは、2年後に開催されます愛知万博政府館の廃水処理において、実演を予定されています。この一環として平成13年から経済産業省からの委託を受けて、造水促進センターが中心となり国立医療科学院、省エネルギー型廃水処理技術開発委員会を作り開発を進めています。これは5年計画で15億円の予算を伴った規模の政府事業です。学長はこれの中で設備安全面での委員長を務めています。

このたび、この第1回の専門委員会が経済産業省、京都大学教授、石川島播磨重工業(株)など官民の研究者を集め、9月16日(火)本学4階会議室にて開催されました。この委員会での成果につきましては、平成16年6月24日(土)25日に行われます「特定非営利法人日本オゾン協会第14回年次研究講演会」(本年度については300名の参加者を集めて北海道大学にて開催。来年度会場 徳山大学)において発表される見込みとなっております。



※NEDO…新エネルギー産業技術総合開発機構

「山口県の将来予測人口構成と就業者構造」 貞木展生教授著「反響呼ぶ」

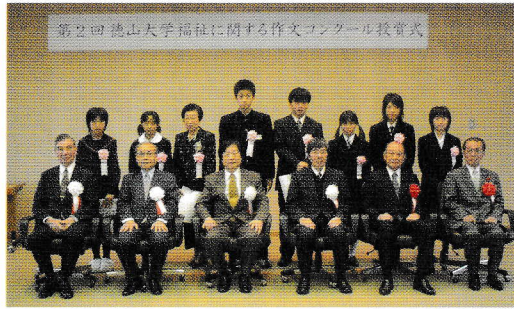
経済学部の貞木展生先生が総合経済研究所より「山口県の将来予測人口構成と就業者構造」を出版されました。この本には、周南市の将来予測も掲載されており、このままでは平成12年度に15万7千人強の人口が、今から12年後の平成27年には13万8千人弱に減少し、急激に少子・高齢化が進むと予測されるとともに、若年層が定住するための方策の積極的な展開を提言されています。

貞木先生は就業人口については山口大学時代から研究を続けてこられました。特に都市間の結びつきの指標として独自に作成しておられます「就業者マトリックス」と



と想われます。

第2回福祉に関する作文コンクール 受賞作品決まる!



第2回徳山大学福祉に関する作文コンクールが行われました。今回は、県内外から77作品が寄せられました。11月15日には徳山大学6階会議室において、授賞式が行われました。杉光学長は「殺伐としたニュースが多い中で、若い人を含めて心優しい人がいることに感銘を受けました。その気持ちを社会に広めて欲しいと思います」と挨拶されました。このコンクールは福祉情報学部の開設を記念して、昨年から始まりました。審査委員長は杉光学長、審査員は青木福祉情報学部長、家常恵教授、三井速雄教授があられました。

なお、校友会ではこのコンクールを後援し、作品募集や事務連絡等を行う事務局を担当しました。

<第2回 福祉に関する作文受賞者一覧> ※敬称略

小学生の部	学校・学年	タイトル
最優秀賞	野村 聡美 周南市立岐山小学校6年	お年寄りとのふれあいの中で感じたこと
優秀賞	原田 育実 山口市立鑄鏡司小学校6年	お年寄りとのふれあいの中で感じたこと
優秀賞	川根 真澄 光市立周防小学校4年	「ありがとう」のことば
中学生の部	学校・学年	タイトル
最優秀賞	友弘 明 周南市立福川中学校2年	家族皆で暮らせる幸せ
優秀賞	森本 美樹 萩光塩学院中学校3年	「やさしさ」がもたらす平和
優秀賞	青木 心 山口市立大殿中学校3年	小さなボランティア精神
高校生の部	学校・学年	タイトル
最優秀賞	高原 千裕 岡山県立倉敷中央高等学校2年	奉仕活動を通じて感じたこと
優秀賞	小林 絵里子 山口県立豊北高等学校2年	1日体験ボランティアを通して感じたこと
優秀賞	栢原 菜美 山口県立新南陽高等学校3年	お年寄りとのふれあいの中で感じたこと
一般の部	学校・学年	タイトル
最優秀賞	山本 和恵 主婦(岩国市・75歳)	納得いくまで話し合いを
優秀賞	長嶺 敬彦 勤務区(防府市・46歳)	兄弟一精神障害は「心の病」ではない
優秀賞	石田 和寛 会社員(小野田市・27歳)	「障害」との出会い



図書館利用のためのエレベーター設置



防火扉の備ったエレベーター。短大校舎の1階から5階に車イスで利用可能。その脇には各階身障者用トイレを設置



25教室へ行くための昇降機設置

学内バリアフリー化 整備工事すすむ

福祉情報学部創設に伴い、学内バリアフリー化のための工事が推し進められました。



3階テラス部分にスロープを設置。素晴らしい眺望が広がります

■工期	平成15年8月4日～9月20日
■総工費	約7,000万円
■施工業者	株式会社フジタ

箱根駅伝へ出場！ 白濱三徳君

10月13日(月)出雲全日本大学選抜駅伝が行われました。学生三

全日本大学駅伝(熱田神宮前、伊勢神宮8区間106、8キロ)で

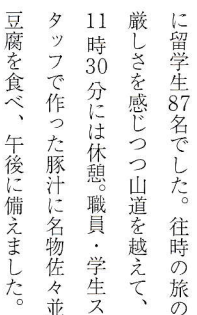
第1区は、現在日本学生陸上界のエースと言われる、橋ノ口選手

第2区は、この区間を本学エース白濱三徳君(経済学科3年)は、橋ノ口選手と競り合いながらも、最後は抜け出し見事区間1位で、

国体で準優勝！ オリンピック出場を目指す藤村義君

10月に行われました、静岡国体におきましてグレコローマン66kg級に出場しました藤村義君(経済4年)が準優勝を果たしました。

卒業後は自衛隊の体育学校へ進むことが決まっている藤村君、これからの活躍に大きな期待が寄せられていると



惜しくも判定で敗れました。しかしながら、彼はまた22歳の現役学生でありオリンピック出場の選手と互角に戦ったところから、次期オリンピック日本代表の呼び声も上がっています。勿論、本人の夢もそこにあると話してくれました。



白濱君が出場することとなり1月2日往路第1区を走る予定となりました。

来場がありました。人気タレント

大学祭が今年も盛大に開催される！



ポプラ祭が11月7日から9日にかけて開催されました。外国人による日本語弁論大会や「こころのバリアフリー」

はなわの登場時には、約千六百人もの人が見入っていました。本学の大学祭は早くからゴミを出さないクリーンなキャンパスを念頭に置いた大学祭が実施されており、行事の合間をぬってはゴミ拾いをする実行委員の姿が印象的でした。

萩往還強歩大会 降雨模様の中 全員でゴール！

本学では恒例行事の、萩往還を山口県庁前より萩市内まで歩く強歩大会が今年も開催されました。早朝7時、維新の激動の扉となつた山口県庁前藩庁門前にて開会式が行われ、山岸学生部長より「歩くとという単純な事柄の中から、自分自身に対する自信も生まれてくるし、今まで見えなかったことも見えてくる」とあります。全員で頑張ってください」と激励の言葉をいただきました。参加者は教職員、経済・福祉情報の学生並びに留学生87名でした。往時の旅の厳しさを感じつつ山道を越えて、11時30分には休憩。職員・学生スタッフで作った豚汁に名物佐々並豆腐を食べ、午後に備えました。



今年のおもなクラブ活動成績 (平成15年12月7日現在の記録)

Table listing sports activities and achievements for various clubs like Judo, Karate, Baseball, Golf, Soccer, Basketball, etc.

Table listing sports activities and achievements for various clubs like Judo, Karate, Baseball, Golf, Soccer, Basketball, etc.

ポプラ祭レポート

第1期生が、ポプラの木の様に天高く徳山大学が発展していくことを願って命名された「ポプラ祭」1日目は好天に恵まれ多数の来場者で賑わいました。2日目は荒天の中、何とか大学祭を最後までやり遂げようとする、大学祭実行委員の熱意が熱く感じられました。研究発表なり模擬店協力なりそれぞれのスタンスで、より多くの方が参加されることを願うばかりです。



④ はなわのステージには多くの聴衆が集まりました。紅白出場を目指すと言っていました。現実のものとなりました。



注目!

徳山大学教務部入試室 (0834) 28-5302

徳山大学卒業生の子女入学に関する入学金免除について
徳山大学では、在学生支援の一環として、中西国地区ではじめての地元専門学校との連携によるWスクールや、各種資格取得者への奨学金制度等、さまざまな改革が進められています。

周南市誕生記念 ノーベル物理学賞受賞者 小柴昌俊文化講演会を開催

本年4月21日、徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町の2市2町が山口県で初の合併により、人口15万8千人の周南市が誕生しました。この合併と、徳山大学福祉情報学部（日本で最初の学部）設置を記念し、周南市文化振興財団との共催で、ノーベル物理学賞を受賞された小柴氏を招き講演会を開催することとなりました。



2004年1月18日(日) 周南市文化会館大ホール
■入場料/一般 500円(全席自由・税込)
校友会員ご招待
■主催/周南市文化振興財団、徳山大学校友会

おたよりコーナー ※プレゼント応募と同時にいただいたおたよりをご紹介します。

- 山崎久男さん 高知県在住
毎週校友会誌楽しみにしています。卒業してから徳山には行ってないので機会があれば是非行きたいと思っています。
小野綾子さん 熊毛町在住
いつも拝見させてもらっています。最近では大学時代の友人と会っていないので、同窓会でもして集まりたいです。
日浅健さん 岡山県在住
大学がどんどん魅力的になっていすばらしいと思います。ホームページもすごく充実していると思います。
岩間啓さん 愛媛県在住(12期卒)
徳山市が合併して市の名前が変わるのと同じく、そうなる徳山大学の名称はどうなるのでしょうか？
A.今のところ変わる予定はないそうです。
米元常智さん 玖珂郡在住
今、人生の中で振り返ってみたら、徳山大学での過ごした日々が1番最高に輝いていたと思いました。
守田はるかさん 福岡県在住(10期卒)
27号のおたよりコーナーで亀井くんという文字を見て、涙がちょよぎれました。1度バンドで演奏を練習した事があります。覚えてらっしゃいますか？
軽音の先輩方も同級生のバンドのみならずも懐かしいです。
本当に、本当に楽しかったです。
宮井雅子さん 岩国市在住
時々HP見せてもらってます！ これからも頑張ってください★
浅見陽子さん 東京都在住
ストラップの可愛らしさに一目ぼれです。宜しくお願いします。
私、大学のサイトというのは、初めて拝見したのですが、遠い昔の若々しさを思い出してしまいました…。これからも、素敵なサイト作りを期待しております。
久野和子さん 愛知県在住
息子から遠く離れてしまったので、とくだいはとでもうれしく読んでいます。いつまでも学校とつながっていられて楽し読んでいます。
高塚敏彦さん 静岡県在住
遠いからなつかしいです。来たらずかです。

- 新田智幸さん 兵庫県在住(11期卒)
OBの誰もが望んでいたと思う、大学オリジナルGOODS!
いやー、欲しいです!このタオルいいですねえ! 出来ればこれからも色々な物を作って欲しい。
我々は卒業時、仲間内でトレーナー、カレッジリンク等を希望します。
東野光宏さん 大阪府在住
愛校心たつぷりの私はこのHPもたまに見ています。卒業生が交流できるコーナーもあるとよいですね。野村先生お元気ですか?
堀内大敬さん 宮崎県在住(22期卒)
会報が来るたびにドキドキしてしまう私です、あの人がまさか載ってはいまいかと。載っているワケが無いので開ける度にホッとしてますが、凄く懐かしく読ませていただいています。
大学時代はアンスタップ部に所属し、ボランティア活動に明け暮っていた延長なのか、私は地元に戻ってからは社会福祉協議会に勤務しています。
今回の福祉情報学部の創設は、時代のニーズにマッチして非常に心強く感じ、さらに誇れる大学になるな、と嬉しさ一杯です。
母校の活躍と発展は卒業生の活力源です。
殿島孝行さん 広島県在住(19期卒)
こんにちは。
毎回、「徳山大学校友会誌とくだい」を送り頂きありがとうございます。
いつも送られてくるたび、時間をかけてゆっくり読ませて頂いております。来年4月に福祉情報学部ができるんですね。すごいですね。
妻も私も徳山大学の19期卒業生なので、校友会誌を読むたびに、当時を懐かしく思い出しております。校友会誌をつくれるのは、本当に大変な作業だとは思いますが、これからも楽しい校友会誌を作ってください。宜しくお願い致します。
長尾博喜さん 大分県在住
いつも徳山大学を気にしていますよ! 頑張ってください。
村田義和さん 大阪府在住
徳山大学のますますのご発展を心からお祈りしています。
久野和子さん
大吟醸届きました。ありがとうございます。思いもかけない事で感謝しています。余談ですが、息子も東京にてがんばっておりますので戻りました折には、学校の話などしてこのお酒で盛り上がりたと思います。これからも楽しませていただきます。本当にありがとうございます。

2002 Tokuyama UNIV Official Project
徳山大学校友会オフィシャルホームページ
Tokudai Expressホームページはもうご覧になりましたか? TN Life Systems代表の野村哲也さん(20期卒)の協力により、充実のラインナップになっています。この「とくだい」のバックナンバーも見ることができます。徳山大学校友会で検索してご覧いただけます。

FM周南(78.4MHz)毎週土曜日10:30から15分間「徳山大学とくだいスクエア」放送中
さる10月7日に周南地区のコミュニティFM局としてFM周南が誕生しました。スタジオはザモール周南内にあります。地域FMという趣旨に鑑み、徳山大学では毎週土曜日10:30からの番組の中のコーナーを企画担当することとなりました。これが、「徳山大学とくだいスクエア」です。周南市周辺の方は一度お聴き下さい。

徳山大学ホームページ ネット広報WebPress
徳山大学ホームページ ネット広報WebPressでは学内の様子をタイムリーに記載しています。学内風景の写真も掲載していますので、こちらも是非ご覧下さい。

＜STAFF＞
●広報部部长 今元 英之(20期)
●広報部員 笹尾 礼史(21期)
岡島 利治(24期)
永井 良(27期)
●事務局 中村 道陽(11期)
●協力 学校法人徳山教育財団 徳山大学
＜編集後記＞
今年1年、「今日はいい写真が撮れるぞ」と思う日はデジタルカメラを持ってキャンパス内を歩きました。今年の春は桜が本道にきれいに咲きました。その感動が少しでも伝わればとの思いを込めて撮影しました。いかがでしたでしょうか。
さて、1月2日は指原駅。東京近郊の方はもちろん全国の卒業生のみならず白濱君に大きな声援をおくるうではないですか。もし、沿道で見られる方がいらっしゃいましたら「頑張れ白濱!!」と声を掛けてあげて下さい。それが選手には一番力になりそうです。よろしくお祈りします。

●おたより随時募集中!
あなたの身近な出来事、在学生時代の思い出、同窓会の話など、何でも結構です。
●プレゼント大募集中!
何でも構いません。貴殿のPRも添えて、どうぞ!
●協賛広告募集中!
校友会誌をより充実させるためにご協力のほど宜しくお願いします。
※詳しくは校友会事務局まで
校友会Eメールアドレス
kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

限定! プレゼント
※今回もおたよりと一緒にドドン!ご応募下さい。お待ちしております。
NO.1 徳山大学特製 図書カード(500円) 5名様
NO.2 学生食堂 ランチカレーメン券 10名様
NO.3 徳山大学特製 絵ハガキ5枚組 5名様
NO.4 ニッサン「新型キューブ」チョロQ 5名様
NO.5 「山口グルメガイド2004」「山口の温泉」「フライタルガイド」 5名様
応募方法
1.希望商品
2.氏名
3.年齢
4.住所
5.TEL
6.ご意見ご感想
※お寄せいただいたおたよりは、次回の校友会誌に掲載させていただきます。